2009 年度アートマイルプロジェクト評価シート

■基本情報について教えてください。

学校名［　熊本市立春日小学校　］　担当教諭［　西尾環／塚本知樹　］			
児童生徒の学年・クラス・参加人数：［　６年　１組　２６名］［　年　組　名］［　年　組　名］			
実施期間：　２００９年　９月　～　２０１０　年　３月			
交流：有（国名［　イタリア］学校名［ Narni Scalo］学年［　５　］担当教諭［　］）			
実施教科・時数 ・関連させたものをすべて ・総合学習では（英語活動環境）など具体的に	教科	単元名	時数
	図工	みんなで描こうアートマイル	１０
	総合（課題追究）	平和の大切さを伝えよう	７
	国語	平和のとりでを守ろう	２
	総合（英語活動）	自己紹介カードを作ろう	１

■作品について教えてください。

題（テーマ）	（未来へ伝える平和へのメッセージ） 「Earth Flower of Peace」
絵に込めたメッセージ	日本はナガサキヤヒロシマに原爆が落とされ戦争の悲しみや悲惨さを体験している。しかし、人々は平和への願いを強く持ち、これまで強く生き抜いて来た。私たちは日本人の一人としてその心を世界に伝え、また世界のみんなが平和になるように、という願いを伝えたい。平和をイメージした花をナルニと共同で描いて世界の平和を願い、平和祈念像や原爆ドームから、ナガサキ・ヒロシマの人々の悲しみと平和の大切さを表した。そして熊本城とナルニの建造物や緑で地域や自然の大切さを、レインボーアートで仲間の大切さや明るい未来を表している。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	５	昨年の６年生とウブド第２小の作品を見る	とても絵が上手だなあ。自分たちもやってみたい。できるかな。	総合１
情報収集	９	イタリアやナルニについて知る	サッカーやパズタで有名。ナルニア王国と関係あるところだ。自然がきれいなところだ。交流もしてみたい。交流の為に英語をちょっと入れて自己紹介カードを描こう	総合２ 英語１
テーマ検討	１１	「未来へ伝える平和へのメッセージ」から、自分たちの伝えるべきものを決める。	修学旅行で見学した長崎の平和祈念像と，国語で学んだ広島の原爆ドームを入れよう。どんなことを学んだかな。自分たちの地域のシンボルである熊本城も入れよう。真ん中に平和の花を入れて、共同で描いたら	図工１ 総合１ 国語２
制作（交流）	１２ １	下絵の案を各自で描く 下絵グループが構図を決めて描く 色を塗る	分担して描こう。花や虹を大きく。筆だけでなく、ケント紙を切り取って、スポンジローラーでも色をつけよう。暗い過去から明るい未来へのイメージで。	図工８ 総合２
鑑賞（交流）	１ ３	春日サイドの絵を見る	思ったよりよくできたぞ。ナルニに送ってできあがるのが楽しみ。	図工１ 総合１

■学習目標と成果はどうでしょうか？（順位は重視したものから順に１～５まで記入してください。順位のつかないものも記入してください）

（５：とても身についた　４：身についた　３：どちらともいえない　２：あまり身につかなかった　１：まったく関連がなかった）

順位	つけたい力・指導目標	先生の手応え	そう感じた場面・理由
９	コミュニケーション・スキル	２	英語カードを描く際、my name is～ とI like～を学んで絵に描いたが、ビデオが撮れず実際に話すことがなかった。
８	情報活用能力（収集・発信）	４	修学旅行や国語で学んだ情報を自ら活用した。イタリアについてもよく調べていたが、それを絵に活用するところまではいかなかった。
７	人間関係をつくる（交流相手・学級内）	３	活動をしながら学級内の人間関係は円滑になった。相手とは子ども同士のテレビ会議やメールでのやり取りもなく人間関係を作るまではいっていない。
２	協同作業をする力（役割・段取り）	４	子どもたちのやりたいことごとに役割を分担したことで非常にスムーズに制作が行われた。
３	異文化の理解	３	イラリアやナルニの情報から様々なことを学んだ。しかし完成した絵を全員が見ておらず、絵から相手の国を理解することができなかった。
１	自文化の理解・自分を見つめる	５	総合の課題追究で、この関連以外でも６年生では取り組んでいたことがあるから。絵に描くことでそれがよりいっそう強まった。
４	表現力	５	この制作に入る前に，個人個人できちんとした絵画の学習を行っており、それが生かされたこと。共同作品として構図や色を考えたり工夫したりしたこと。
５	学習を追究する意欲	４	総合と関連したことで調べることや描くことに対する意欲は高かった。ただしやはり共同であるが故の個人差があるから。
６	作品を鑑賞する力	３	自分たちの絵のよさや課題に気づいたり、全体的なバランスを考える子どもが多かったから。また新たに書き加えるという新たなことに挑戦したことから。ただし完成した絵画の鑑賞ができなかった。

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成果	課題
共同で制作していく流れがスムーズになった。担任との連携が大切であることが分かった。絵の具の使い方（色づくり・塗り方）を工夫し、比較やバランスを考えた絵の見方、考え方ができるようになった。ローラーやステンシルは、限られた時間で制作できる。	制作の喜びはあったが、共同で作り上げたという満足感がなかった。計画通りに行かず、卒業前に絵が出来上がって戻って来ないという結果となり、こどもたちに大変申し訳なかった。もっと交流できる方策も考えなくてはいけない。

■その他ご感想・アートマイルプロジェクトへの要望などありましたらどうぞ。

本部の方々には本当にお世話になりました。
次年度（２０１０年度）もやってみたいと職員・子どもに希望があります。ぜひ、参加したいと思います。今年こそは年度内完成を目指して。できれば交流でき、英語を上手く活用できるスタイルにしたいと思っています。